労山愛知

愛知県勤労者山岳連盟機関紙

２０１５年7月１７日発行

Ｎｏ．５１２（第４７期５号）

〒454-0055
名古屋市中川区十番町 2-8
栄和産業(株)ビル 2F
TEL/FAX　052-654-1210
http://aichirousan.web.fc2.com/

6 月 28 日(日)　無雪期救助訓練　御在所岳裏道周辺で 57 人。

事故を起こしたら？　事故を起こさないために。

夏山シーズンを前に、愛知県連盟の無雪期救助訓練が実施されました。6 月 28 日(日)の実技に先だって、6 月 22 日(月)19：30 から机上学習会が 12 山岳会 57 名（あつた 5、ありんこ 2、ＡＳＣ8、くらら 3、じねんじょ 5、スルジェ 1、同志会 4、半田Ｆ13、東三河 4、ふわく 7、みどり 1、若駒 4）の参加で県連事務所で開かれました。学習会では、洞井理事長から、救助訓練は、①事故が起きた場合の当該パーティーの迅速な動きや判断が必要であること、②自分の所属する山岳会と県連は組織としてどう動くかというシステムを知っておくことが大事であること、③登山者ひとりひとりが事故対応を経験することで、事故の際に落ち着いて行動できるようになっていくこと、④事故を起こすことの大変さを知り、事故を起こしてはならないことを自覚するための「訓練」であることが説明され、搬送の一例としてのザックやロープの使い方、ザイル担架の作り方、それらを使っての搬送の方法などを学びました。

28 日に御在所岳「四の渡し」周辺で実施された実技訓練には 10 山岳会 57 名（あつた 7、じねんじょ 9、スルジェ 1、ＡＳＣ8、同志会 4、半田Ｆ10、東三河 5、ふわく 6、くらら 3、若駒 4）が参加しました。午前中は「登山道から転落した事故者を登山道に引き上げ搬送する」という想定で、①支点の作り方②ザイル、細引きを使って事故者の所まで降りる方法、③事故者の登山道への引き上げる方法などを体験し、午後からはザイル担架を作り、実際に登山道を搬出するシミュレーションを行いました。この救助訓練が事故を防ぐために役立ってほしいものです。

≪目　次≫

	6/28　無雪期救助訓練　　事故をおこしたら？事故を起こさないために	
巻頭言	高低難易、有名無名にかかわらず、おそれをもって	2
遭対部	７月 10 日夏山合宿遭対連絡会議を開きました	2
	各会夏山合宿一覧	3
組織部	第３回組織担当者会議を開きました	5
教育部	第３回教育担当者会議を開きました	7
婦人部	第４回女性のつどい「実践！バージョンアップ・合宿メニュー」	7

巻頭言

高低難易、有名無名に関わらず、おそれをもって

愛知県勤労者山岳連盟会長・理事長　　洞　井　孝　雄

急に気温が上昇しました。全国では熱中症でなくなった人や病院へ運ばれた人たちのニュースが相次いでいます。

この『労山愛知』が発行される頃には答えが出ているかも知れません。「安全保障関連法案」のことです。安倍政権と自民・公明の与党は、今国会中の法案成立を狙って、通常国会の会期末（6月 24 日）を 9 月 27 日まで 95 日間延長することを決めました。法案が衆院を通過して、参院で可決しないまま 60 日を経過すると再び衆院に差し戻して再採決を行うことができる、という 60 日ルールを逆算すると、7 月 15 日前後がちょうど衆院を通過させるリミットになります。

憲法審査会では与野党から推薦された参考人の憲法学者全員が集団的自衛権は「違憲」であると指摘して、この法案の危険性を指摘する声はおおきく広がりましたが、日本の戦争が「侵略戦争」であったとも「間違った戦争」であったとも決して言わない安倍政権は、「安全保障関連法案」の衆院採決強行に向けて動きを具体化させています。7 月 13 日に開かれた衆院安保法制特別委員会の公聴会でも野党推薦の公述人 3 名が「違憲」であると指摘し、与党公述人 2 名のうち 1 名が慎重審議を求めました。この間、メディアの世論調査でも国民の半数以上が反対、8 割近くが「説明不足」であると答え、この法案を採決させず、廃案にすべきだ、という声が高まっているにもかかわらず、何が何でも推進しようとする強硬姿勢には許しがたいものがあります。

戦後 70 年を迎える今年、冒頭に挙げた「安保関連法案」によって、日本が「戦争のできる国」に逆戻りしてしまうという戦後最大の危機を迎えています。このことは、私たちが大事にしている文化・スポーツ、権利としての登山を、理不尽なかたちで奪われることにもつながります。平和あってこその登山です。何としても、この法案を廃案にしたいものです。

さて、夏山合宿のシーズンに入りました。日程の関係から、今年は 7 月中旬からすでに合宿の計画が組まれている会もありますが、台風の動きが気になります。

夏山合宿遭対連絡会議が 7 月 10 日に開かれ、10 山岳会から 57 件の合宿計画が出されましたが、加盟山岳会の半数が欠席しています。合宿あるいはそれに類する山行が組まれていないわけはないと思いますが、いくつかの会から、「よく知られた山域だから、とか、特に危ないところはない」、という発言が見られたように、夏山はそういう錯覚を起こしやすいシーズンでもあります。会議でも最後のところで、「山の高低難易、メジャー、マイナーであるとに関わらず、自然の中に分け入ることそのものに危険は潜んでいることを知っていてほしい、おそれをもって山に入ってほしい」と述べましたが、こんなところで…という場所での事故が続いています。十分に気をつけて入山してほしいものです。暑く忙しい夏。元気で乗り切りましょう。

遭対部

7 月 10 日(金)、第 47 期夏山合宿遭対連絡会議を開きました

7 月 10 日（金）19：30 から第 47 期夏山合宿遭対連絡会議を開きました。11 山岳会 26 名【村田・田島・青山・廣田(同志会)、石井・大岩・鈴木（東三河）、岩田・千田(スルジェ)、白井（じねんじょ）、西尾・三宅（くらら）、佐藤・嶋村・村岡・伊藤・加藤（あつた）、水谷・榊原(ありんこ)、板津・洞井(半田Ｆ)、天池(アリス)、吉井・三浦・望月(ふわく)、清水(東海)】が出席。

当日提出された計画書は 10 山岳会 57 通（同志会 3、東三河 10、スルジェ 2、じねんじょ 1、

くらら 3、ふわく 30、半田Ｆ1、あつた 4、ありんこ 2、東海 1）でした。また、一件の事故報告がありました。計画書について出された指摘・質問は以下のとおりです。

・北鎌尾根を登攀するのにロープが 8mm×15m一本で十分かどうか？についての見直しを。
・複数の計画書が出されている会で、ツエルトの大きさの認識・理解が 2～3 人用、1～2 人用ばらばら、会で統一したものを計画書に記載するように検討を。
・自家用車の場合、車番を明記した方がよいのではないか。
・聖岳山行で、落石予防のためヘルメットがあったらよかった、という経験が述べられ、会で検討すること。
・12 名のパーティでのリーダー配置の問題に疑問がだされました。１パーティーの中で、ＣＬ、Ｌ、ＳＬ2 名の 4 名が配置されているが、パーティーでの役割分担はどうなるのか、どう動くのか、というにするつもりか？　誰が責任を持っているか分からない、整理しておかないとパーティーとして機能しない、という指摘がありました。
・飲用水が小屋で調達できるか、予め確認しておくべきと指摘がありました。
・小仙丈沢～仙丈ヶ岳山行では、ピッケルを１本持参した方がいいとアドバイスがありました。

各会夏山合宿一覧

山　岳　会		山域	山　　域	日　程	
あつた勤労者山岳会	A	南ア	仙流荘～大平山荘～馬ノ背～仙丈ヶ岳～三峰～熊ノ平～塩見岳～鳥倉登山口	8/7～10	3
	B	北ア	扇沢～種池山荘～爺ヶ岳　往復	8/7～9	7
	C	南ア	野呂川出合～小仙丈沢～大滝～仙丈岳～北沢峠	8/23～24	7
	D	北ア	上高地～涸沢～北穂～涸沢～前穂～上高地	8/8～10	6
じねんじょ山の会		北ア	大谷原～高千穂平～冷池～鹿島槍ヶ岳　往復	8/1～2	11
スルジェ山の会	A	南ア	便ヶ島～聖平小屋～聖岳～薊畑～便ヶ島	8/8～9	7
	B		便ヶ島～聖平～聖岳～茶臼岳～光岳～便ヶ島	8/8～11	5
東海山岳会		北ア	涸沢ベース～屏風、前穂、北穂	8/12～18	13
名古屋ありんこ山岳会	A	北ア	扇沢～蓮華岳～針ノ木岳～鳴沢岳～爺ヶ岳～柏原新道	8/7～9	11
	B		上高地～徳沢～横尾～蝶ヶ岳～徳沢～上高地	7/18～20	7
名古屋山岳同志会	A	北ア	上高地～水俣乗越～北鎌～槍ヶ岳～南岳～北穂～上高地	8/7～11	6
	B		上高地～槍ヶ岳～北穂～奥穂～前穂～上高地	8/8～10	7
	C		上高地～涸沢～奥穂高　往復	8/7～10	4
半田ファミリー山の会	A	北ア	扇沢～蓮華岳～針ノ木岳～扇沢	7/25～26	8
	B		扇沢～蓮華岳～針ノ木岳～鳴沢岳～爺ヶ岳～鹿島槍ヶ岳～冷池～大谷原	7/25～27	18
東三河山ぽ会	A	北ア	室堂～一ノ越～立山三山～雷鳥平～室堂	7/18～20	3
	B		室堂～雷鳥沢～立山三山～雷鳥平～室堂	7/18～20	7
	C		室堂～龍王岳～立山三山～雷鳥平～室堂	7/25～26	8
	D		称名の滝～大日岳～雷鳥平～室堂	7/24～26	8
	E		称名の滝～大日岳～奥大日～室堂	7/31～8/2	12
	F		折立～太郎平～薬師岳　往復	7/26～29	7
	G		折立～黒部五郎岳～三俣蓮華～水晶岳～折立	7/25～29	6
	H		室堂～剣沢～源次郎尾根～剱岳～剣沢～室堂	7/17～20	9
	I		馬場島～早月尾根～剱岳　往復	7/24～26	4
	J		室堂～剣沢～池ノ平～剱岳～大日岳～称名の滝	7/29～8/1	5
山の会くらら	A	南ア	仙流荘～馬ノ背～仙丈ヶ岳～小仙丈～仙流荘	7/18～19	6
	B	北ア	上高地～涸沢～奥穂高～涸沢岳～涸沢～上高地	7/25～28	10
	C	南ア	椹島～千枚岳～東岳～赤石岳～聖岳～赤石ダム	7/29～8/2	12

○**事故報告№6**　沢遡行中、足を滑らせ脱臼

【発生日時】2015 年 6 月 23 日（火）10：20　【山域・山名】鈴鹿・仙ヶ岳

【事故者】女性、65 歳　【負傷の程度】右肩脱臼(全治 2 週間)

【事故の概要】七つ釜のゴルジュを抜けたところにある斜滝(高さ 3m弱、斜度 35 度程度)を登っていて左足が滑り、」50ｃｍほどずり落ちた際に、岩床の凸面を掴んでいた右腕に体重＋ザックの重量がかかって脱臼。水が少し流れていてぬめりがあり、滑りやすい状況だった。違和感が消えなかったので遡行打ち切り、登山道に上がり下山した。帰宅後整形外科を受診した。

▲指摘・反省など

・沢登りは一般登山道とはちがって、事故が起きたら搬出も搬送も困難になる。

・事故報告では、滝を巻くなど安全策を考える、という反省や対応策がきまって述べられるが、こういう事例を見ても自分たちとは関係ないかのように、ほいほいと沢に入っている。メンバーの力量とリーダーの判断、事故が起きた際にどうするか、ということが事前に考えられているか、どうかが問われる。

6／27～28 全国遭難対策研究集会に参加しました

2015 年 6 月 27 日（土）から 28 日(日)の 1 泊 2 日で、全国遭難対策研究集会が神戸市で開催され、愛知県連から森副会長、廣田教育部長それから望月遭対部長が参加した。

労山が 2004 年から 2014 年までの 11 年間に、3355 名の事故報告があり、死亡行方不明者は 111 名を数えている。特に 2009 年は 19 名の死亡事故が発生し全国遭対部長名で 2 回の非常事態宣言を発信した。その後も毎年 10 名前後の死亡事故が発生し、2013 年には 14 名の死亡事故が発生した。2014 年 7 月、全国遭難対策担当者会議を東京で開催した。会議は一定の成果があったものの、加盟団体役員・リーダー層への浸透には十分でないと判断し、近畿地方での全国集会を開催した。

テーマ 1 は県連登山学校・リーダー養成学校の事故について、テーマ 2 は重大事故に会と連盟はどう関わってきたか、テーマ 3 は会の山行計画に連盟はどう関わるか、テーマ 4 は懸垂下降技術他であった。第 1 日目はテーマ 1～3 を報告・討論し、テーマ 4 は第 2 日目に報告・討論した。

第 1 日目の夕方、川嶋事務局長から約 1 時間半イギリスのトラッド・クライミングについて報告があった。因みに、トラッド【trad】は、ナチュラルプロダクションのみを使い、できる限りグラウンドアップで登るというクライミング本来のスタイル。

第 2 日目、全議事が終了してから、有志での実技体験に、廣田と望月が参加した。

膨大な報告・資料が配布された。その中に、「2014 年度　事故の傾向」というレポートがありその 7 に「連盟別では上位 6 連盟が昨年と同じである。千名規模の地方連盟では福岡県連と愛知県連の事故率が低い。この二つの連盟では昨年からも大きく改善している」と評価されていた。しかし、ちょっと油断すれば立待ち事故は発生してくる、「明日はわが身」である。参加者 3 名は、それぞれの分野で学んだことを県連・山岳会に伝え、実践していこうと決意している。

6／15･21 確保技術講習会を行いました

2015 年 6 月 15 日(月)19：30 から確保技術講習会机上を、森講師（東三河山ほ会、県連副会長）が担当し県連事務所で開催、12 山岳会 53 名（あつた 9、じねんじょ 7、スルジェ 1、ありんこ 1、ＡＳＣ5、同志会 2、半田Ｆ11、東三河 3、ふわく 9、みどり 1、くらら 2、若駒 2）が参加しました。講義では、確保支点の重要性や、転落時の支点やザイルにかかる衝撃、確保者にかかる力について要点を学び、21 日比良山岳センターの実技に向けての実施要領説明と、打ち合わせをおこ

ないました。

6 月 21 日(日)滋賀県比良山岳センターで行った実技には、10 山岳会 54 名（ASC5、あつた 9、ありんこ 1、くらら 1、じねんじょ 10、同志会 2、半田Ｆ11、東三河 7、ふわく 6、若駒 2）が参加しました。

講習会ではロードセルを使用し、スタテックビレイとダイナミックビレイでの衝撃荷重の測定を行い数値で確認、確保の仕方で衝撃荷重の変化を体感することができました。トップが墜落した時のビレイの仮固定については、今回さらに一歩踏み込みトップを半マストでロアーダウンさせるところまで実施しました。バックアップを下降器下部にマッシャーでおこなう懸垂下降、トップが宙吊りになった際の、登り返しの訓練を 4 班に分かれておこないました。当日朝、雨が強く心配しましたが、講習中、降ったり止んだりの天気となり予定通り実施できました。

6/27 救命救急法講習会をおこないました

救命救急法講習会(講師:今立由美子さん／大阪府連)は 6 月 27 日（土）10：00 から県連事務所で開催されました。12 山岳会 50 名（あつた 7、じねんじょ 2、スルジェ 2、ありんこ 3、ＡＳＣ 5、同志会 2、半田Ｆ11、東三河 3、ふわく 6、みどり 4、くらら 4、若駒 1）が参加し、午前中は登山に必携の救急セットの中身について、三角布の使い方、パティーを組んで負傷者手当の模擬演習、午後も三角巾の負傷の部位に応じた使用法、常時持っている装備品の応用の仕方や考え方（救助し手当する側の安全を図ったうえで、負傷者の不安を和らげながら手当てすること）を実技中心に学びました。

三角巾の使用法を繰り返し練習しました

組織部

第三回組織担当者会議を開きました。

７月９日（木）に第三回組織担当者会議を開きました。出席は 10 山岳会 11 名。

【出席者：江島（じねんじょ）、本田（スルジェ）、大石（アリス）、宮沢（みどり）、白水（かわせみ／議事進行）、小栗（半田 F）、鈴木（東三河）、加藤（あつた／議事録）、飯田（おやこ）、弘中（春日井峠）、洞井（半田 F）】。

最初に県連組織部から　①　総会以後の各会別の会員数の増減　②　一般向け登山講座についてのまとめ　③　「平和行進」への参加状況について報告がされました。

討議では、**各会から第二回担当者会議以後の「プラス１運動」**の取り組み状況が報告されそれらについて「意見が交わされました。

・新聞に記事が掲載され、問合せが４名あり、お試し山行に２名が参加した。
・一般講座で山岳会の様子を知ってもらう機会を確保してほしい
・一般社会に呼びかける窓口を持っていない。ホープページやメディア・口コミが大切
・広い地域をカバーするために、岡崎方面で、『山のつどい』を開催した。今後も隔月で開催する
・市役所にパネルで掲示した。６月末に弥勒山にチラシ・７月末に展示。10 月に公開登山
・一般講座受講生からの見学４名、入会者は HP と知人紹介

などの発言がありました。

「基本から学ぶ安心登山」について意見の交換をしました。

・これまでの講座の受講生の入会者が多い会は『くらら』と『ありんこ』、派遣されたスタッ

フの取り組みの結果だと思う
・今年の受講生の学習意欲は高かった（人数、出席率ともに）
・実技講座に各会から CL・SL が出れば、入会につながると思う
・実技でそこそこのレベルの人が参加していた。知識欲があるが組織に入ることには抵抗があるという人も多い。

また、次年度も「一般向け登山講座」を組織部として継続することを確認しました。

「平和行進」について

「おやこ山の会」の飯田さんから県連としての取り組みの意義、歴史的経過についてお話を聞きました。　「毎年第一日曜日は清掃登山と日程が重なるが、清掃登山に参加できない人に平和行進に参加してもらえるようにすればと活動を両立できる。」との発言がありました。

第四回担当者は９月１７日（木）に開きます！

６月末会員数は１０人増・９人減で１１２７名です、前年対比で１０名の増ですが総会時（２月末）との比較では１３名の減になっています。３月に３８名の退会者があり回復できていないのが現状です。

県連盟組織数推移（2015. 4～6）

加　盟　団　体	2015 年4月末現在 在籍会員数			5月末現在 在籍会員数			6月末現在 在籍会員数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
あつた勤労者山岳会	34	31	65	34	31	65	35	32	67
アリス山の会	3	4	7	3	4	7	3	4	7
犬山勤労者山の会マップ	19	29	48	20	29	49	19	29	48
おやこ山の会	3	6	9	3	6	9	3	6	9
春日井峠の会	23	20	43	22	20	42	21	21	42
かわせみ山楽会	7	3	10	7	3	10	7	3	10
じねんじょ山の会	32	27	59	32	27	59	33	27	60
スルジェ山の会	15	17	32	15	17	32	15	17	32
ちんぐるま	5	0	5	5	0	5	5	0	5
東海山岳会	29	7	36	28	8	36	28	8	36
名古屋ありんこ山岳会	21	17	38	20	17	37	20	18	38
名古屋 ASC	22	13	35	22	13	35	22	13	35
名古屋山岳同志会	57	44	101	57	44	101	58	44	102
名古屋山歩会	17	6	23	16	7	23	17	6	23
半田ファミリー山の会	33	47	80	33	47	80	33	46	79
東三河山ぽ会	85	91	176	86	91	177	85	89	174
低い山を楽しむ会	9	6	15	9	6	15	9	6	15
ふわく山の会	109	110	219	111	110	221	110	110	220
みどり山の会	9	24	33	9	24	33	9	23	32
山の会「くらら」	39	30	69	41	30	71	43	31	74
若駒山岳会	10	9	19	10	9	19	10	9	19
合　　計	582	541	1123	583	543	1126	584	543	1127

教育部

7月８日　第３回教育担当者会議 を開きました

2015 年 7 月 8 日(水)　19:30 から、第 3 回教育担当者会議を開きました。出席は 5 山岳会 5 名【森田（あつた）澤田ますみ（みどり）大沼信次（くらら）堀田（春日井峠）廣田（同志会）】
テーマ：「各会の山行計画書から学ぶ」

同じように見えてもちょっと違う各会の計画書。計画書を労山で統一しようというのではなく、まずは他の会の計画書を拝見して良いところは学ぼうというコンセプトで話しあいました。当日は会議でオープンにしても良いという計画書を持ち寄りました。

計画書の作成は今やパソコンが大半ですが、手書きも行われています。そのためか概念図をコピペで済ましたり、単なるルート図を描いた計画書が多く、「あつた」ではコピーはやめようと呼びかけているそうです。

エクセルで計画書を作成している会が多いのですが、会員名簿とリンクしている物があり、個人情報が漏れないかとの指摘がありました。対応策として、参加メンバーだけ別ファイルで作成し、計画書に貼り付ける方法をとっている会もありました。

個人情報に関しては、地元や警察に山行計画書を提出後の管理はどうなっているのか、条例等で計画書提出が義務化の動きの中で、どう扱われているのか注目する必要があるとの指摘が出ました。入山口にある登山届の箱に鍵が無かったら入れないとか、入山時にいれて下山時にはとりだすようにしている会もあります。個人のプライバシーを心配して、群馬県の山岳会から貴会ではどう扱われていますかとの問い合わせもあったそうです。

山行管理の方法はそれぞれの会のやり方で取り組まれており、ノーチェックの会はありませんでした。

また、「あつた」では、入・下山連絡を一か所に携帯メールすると、サーバーを介して山行管理者全員に一斉メールされる仕組みになっています。

参考までに、富山県の条例で提出する計画書や労山以外の山岳会の計画書もみてみました。

基本的な部分は大きな違いはないものの、仔細に見ていくと計画書にはその会の考え方が反映されているようです。

第4回教育担当者会議は9月18日（金曜）19：30より。
「ハイキングレスキュー」をとりあげます。

第１回の会議で「ハイキングレスキュー」が話題に上がり、
各会でどのように取り組んでいるのかやってみようじゃないかということになりました。当日は道具を使った実演もまじえながら、各会のやり方、考え方を紹介しあう予定です。

婦人部

「実践！バージョンアップ・合宿メニュー」第４回女性のつどい

（担当：あつた勤労者山岳会　木村さん・前田さん・矢澤さん）

7 月 2 日(木)１９時から調理施設が整った名古屋市東生涯学習センターで第 4 回女性のつどいを開きました。参加者は 8 山岳会 32 名でした。

最新版の合宿メニューブックを前婦人部長の河村さんに作成して頂きました。各山岳会から特別に推薦された 14 のメニューをすべて作ってみました。6 つの班に分かれて 2～3 メニューを 19:45 を目安に仕上げその後 21：00 迄に試食・片付けを予定しました。皆様からは『女性のつどいに初めて参加しました。他の会の方たちと作ることで打ち解けやすかった』『実際に作ることで山行でのイメージ作りになりました』『あっという間にできて段取、手際の良さに感心』『テント泊が楽しみ』『名札がほしかった』等の感想をいただきました。参加者の協力で 20：30 には同センターを出ました。お疲れ様でした。

Schedule 2015

2015年7月			8月			9月		
1	水		1	土		1	火	
2	木	女性のつどい４	2	日		2	水	
3	金	理事会９	3	月		3	木	自然保護担当者会議
4	土		4	火		4	金	夏合宿遭対報告会議
5	日		5	水		5	土	登山学校Ｃ研修
6	月	登山学校理論 14	6	木		6	日	登山学校Ｃ研修
7	火		7	金	理事会 11	7	月	
8	水	教育担当者会議３	8	土		8	火	
9	木	組織担当者会議３	9	日		9	水	
10	金	夏合宿遭対連絡会議	10	月		10	木	女性のつどい
11	土	登山学校実技 M6C7	11	火		11	金	理事会 13
12	日	登山学校実技 M6C7	12	水		12	土	
13	月		13	木		13	日	
14	火		14	金		14	月	
15	水		15	土		15	火	
16	木		16	日		16	水	
17	金	理事会 10	17	月	登山学校研修 M 打合	17	木	組織担当者会議４
18	土		18	火		18	金	教育担当者会議４
19	日		19	水		19	土	
20	月		20	木		20	日	
21	火		21	金		21	月	
22	水		22	土		22	火	
23	木		23	日	登山学校実技 M7C8	23	水	
24	金		24	月		24	木	
25	土		25	火		25	金	理事会 14
26	日		26	水		26	土	
27	月		27	木		27	日	
28	火		28	金	理事会 12	28	月	
29	水		29	土	登山学校 M 研修山行	29	土	
30	木		30	日	登山学校 M 研修山行	30	日	
31	金		31	月				

急に気温が上がって、じっとしているだけでも汗が噴き出してくる。先日、登山学校の実技を土曜日曜の二日間にかけて鈴鹿・釈迦が岳、羽鳥峰周辺で実施した。土曜日は設定されたポイントをパーティーごとに地図を読みながら回ることが課題とされたが、本当に地図を読んだか、といえばまだまだ、である。しかし、この実技をきっかけに、地図読みの面白さにはまる受講生も増えるのでは、と期待したい。翌日はツメカリ谷を遡行した。ここ数年で久しぶりに晴れて、絶好の沢登り日和りで、その面白さを堪能した。ただ、沢を終えて、登山道までの詰めの途中で、尾根筋を登る際に受講生のひとりが転がり落ちた。登山学校、登山講座、学習の実技で（それ以外の場面でも）あってはいけないことだ、と戒めてきたばかりだったのに。幸い打撲と擦過傷で済んだのが不幸中の幸いであった。沢登りは、「楽しくて美しくて危険」であることをもう一度、かみしめたい。

ご意見、ご用望・投稿などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

http://aichirousan.web.fc2.com/　　e-mail:aichirousan@gmail.com